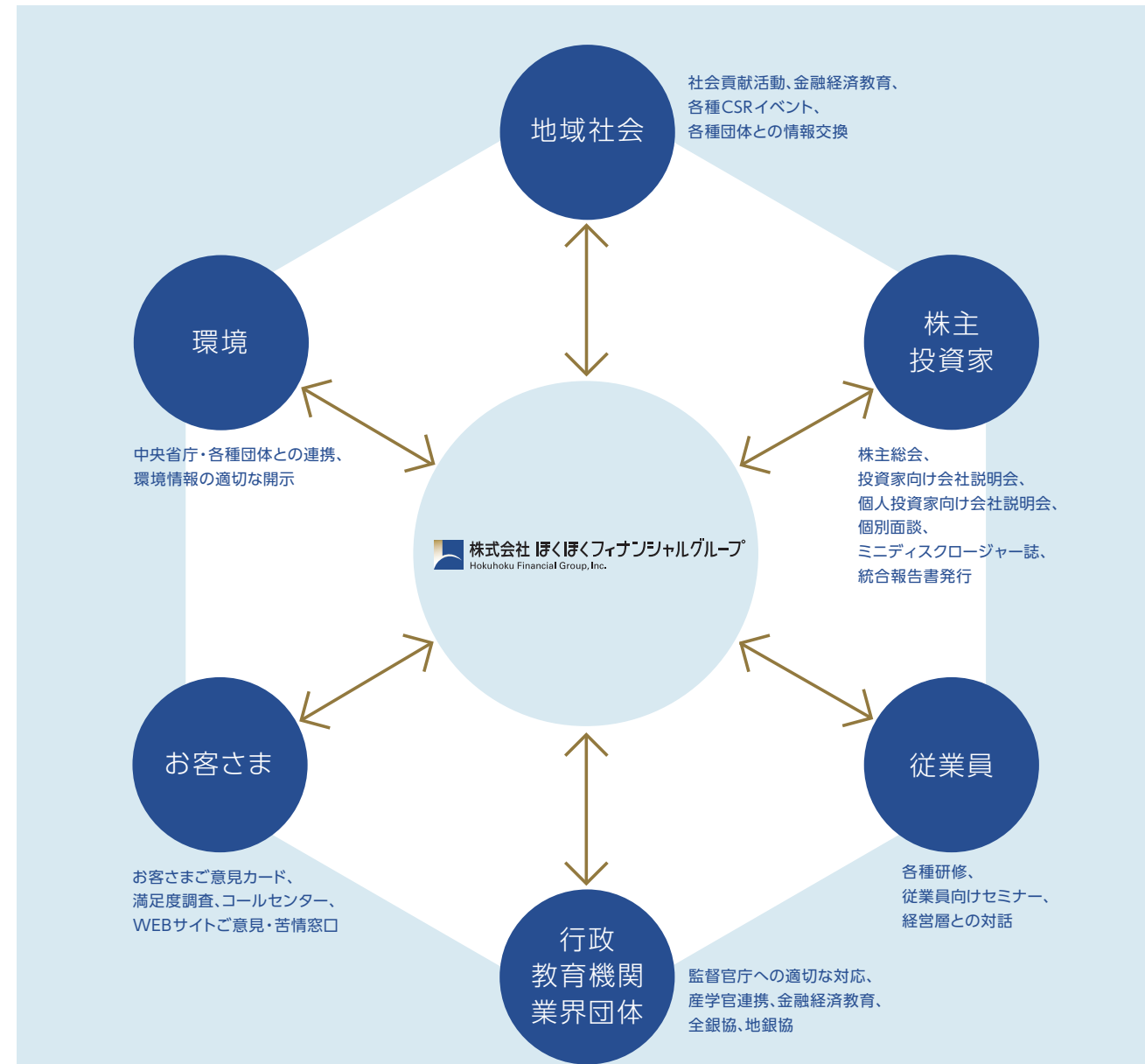


# ステークホルダーコミュニケーション

## ステークホルダーとのかかわり

ほくほくフィナンシャルグループは「お客さま」「環境」「地域社会」「株主・投資家」「従業員」「行政・教育機関・業界団体」といった様々なステークホルダーの皆様とのかかわりを通じて、持続可能な社会の実現に向けて取り組んでいきます。



### ほくほくフィナンシャルグループ ディスクロージャー・ポリシー

#### 基本方針

株式会社ほくほくフィナンシャルグループ(以下、「当社」とする)および当社子会社、関連会社は、「広域地域金融グループとしてのネットワークと総合的な金融サービス機能を活用して、地域とお客さまの繁栄に貢献し、ともに発展しつづけます」という経営理念のもと、株主・投資家、お客さま、地域社会、従業員等あらゆるステークホルダーに対し、積極的な情報開示を行います。また、様々なコミュニケーション活動を通じて、ステークホルダーとの信頼関係を維持・発展させていきます。

## 株主・投資家

ほくほくフィナンシャルグループでは、株主・投資家の皆さまとの対話の場を重視しています。2023年度は、5月及び11月に機関投資家向け、6月に個人投資家向け会社説明会を開催し、当社グループの概要、業績および戦略等についての説明機会を設けています。足元では、2024年5月に機関投資家向け会社説明会をハイブリッド(集合+WEB)形式で、同月に個人投資家向け会社説明会をWEB形式にて開催しました。また、説明会に社外取締役が参加するなど対話の充実を図っています。



## 環境

ほくほくフィナンシャルグループでは、環境への取り組みについて地域に波及させていくためにも様々なステークホルダーとの対話の機会を重要と考えています。2024年3月、北海道の若手経営者を官民で育てる「北海道経営未来塾」において、ほくほくフィナンシャルグループとして兼間副社長を筆頭とするSX推進部が塾生50名を対象に講演を行いました。引き続き、お取引先に限らず、地域の事業者が集まる場など多くの場面でGXをはじめ環境に関する対話の機会を増やしていきます。



## 地域社会

NISA(少額投資非課税制度)の新制度開始による資産形成への意識の高まりも背景に、金融リテラシー向上への取り組みが地域金融機関に対して期待されており、ほくほくフィナンシャルグループも初等・中等・高等教育や、自治体・企業職員への社会人教育において、金融経済教育や職場体験を実施しています。高齢化やキャッシュレス化が進む一方で、架空請求や不正取引等の金融犯罪が増加しており、金融の仕組みや消費者としての正しい知識を理解し、自律的に金銭感覚・道徳観念を形成できるよう、地域社会と連携しながら取り組みを進めていきます。



## 行政・教育機関・業界団体

北陸銀行および北海道銀行は、行政や教育機関、各種団体との連携を通じてコミュニケーションの強化を図り、地域のニーズと研究シーズとのマッチングや各地域の特徴や強み、抱える課題などに応じた各種取り組みを積極的に連携・協力しています。2023年度末においては、51の自治体と協力関係を構築しており、産学官連携による地方創生の取り組みを進めています。



## お客さま

北陸銀行および北海道銀行は、お客さまの声に真摯に耳を傾け、より良いサービスのご提供・商品のご案内に役立てるため、資産運用のお取引をいただいているお客さまへのアンケート調査を実施しています。アンケートについては、お客さまが企業のブランドや商品・担当者に高い関心を持ち、「知人やご家族にどの位勧めたいと思うか」を数字に表したNPS®(Net Promoter Score®)を活用しています。2023年度からは両行に加えて、ほくほくTT証券においてもアンケート調査を実施しています。お客さまの声をグループ一体で活用していくことで、より満足度の高いサービス提供につなげていきます。



## 従業員

ほくほくフィナンシャルグループでは、役員と従業員の対話を通じて従業員とのコミュニケーションを活性化させる場を設けています。また、2023年度は前年度に引き続き、入社式や新入社員向け研修会を、グループ合同で実施しました。その中で、経営陣との座談会や講話もカリキュラムとして設定することで、各社・各行の垣根を超えてグループの一体感の醸成を図っています。

